

JAUW 茨城支部だより

2013年度-4号

2014年 3月 20日 (一社)大学女性協会(JAUW)茨城支部

行きつ戻りつしながら、小さな春がすぐそばまでやってきている毎日です。気温は真冬並みに低いのですが陽ざしはすっかり春の気配！枯れ枝に新芽を見つけたりして嬉しくなります。

いよいよ1年間の総括をする年度末を迎えました。第1回目の定例会が長谷川典子会員(前常総市長)のシリーズMYWAYで始まり、この3月の年度末定例会では三澤会員の第8回MYWAYで結びとなりました。この間、会員の得意分野を活かして、税理士の長沼会員から相続や遺産分割の講話、安藤会員から抹茶、幡谷会員からお煎茶をいただきました。松本会員の新春祝舞などのご報告は今号に掲載しました。本部事業委員会共催「世界のつくばで他支部との交流とサイエンスを楽しむ」会合も9月に行い、広く会員の親睦を深める年だったでしょうか。

「高等学校家庭科におけるパートナーシップ教育の状況調査」報告書(県内高校生対象アンケート調査)も現在、プロジェクトチームが全力結集して考察・まとめに入っています。総会にて配布予定になっておりますのでご一読いただきたく存じます。

なお、今回総会では支部規約について、本部の一般社団法人移行に伴う事務的な改正を行う必要が求められています。改正案を同封いたしましたのでご確認の上、改正案決議のための総会期日に出席(欠席の場合は委任状提出)していただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

(支部長 今高記)



総会のお知らせ

2014年度総会を下記の通り開催致します。今年度総会では規約改正をすることになりました。改正の主な目的は一般社団法人大学女性協会規約に準じる事項及び、その他の見直しをすることです。改正規約案と現行規約を支部だよりと共に同封いたしましたので、改正の内容をご確認の上、ぜひご出席くださいますようお願い致します。

又、総会特別行事として今年度守田科学研究奨励賞を受賞しました茨城支部会員の矢根さんの講話を企画しました。女性の科学分野への参画と出産子育て(3・4・7歳児の母)などキャリア維持の両立についてのご苦労などお話ししていただきます。ぜひご参加ください。(出欠を同封ハガキにてお知らせください)

記

日時 2014年4月26日(土) 13:30~

※電車等のご利用の方は会場まで役員の車が迎えに参ります。

集合: 13時(土浦駅西口付近)

場所 都和公民館 土浦市並木5丁目4824-1 Tel.029-832-166

7

内容

・2014年度総会行事

(議事内容) 1 2013年度事業及び会計報告

2 監査報告 3 2014年度事業計画案及び予算案につい

て

4 規約改正について 5 その他

・総会特別行事

講話 「バイオミネラリゼーション研究の応用展開とワークライフバランス」

講師 大矢根綾子会員 (独)産業技術総合研究所 ナノシステム研究部門主任研究員



<支部活動報告>

1月定例会（新年会）

晴天に恵まれた1月18日、水戸市末広老人福祉センター「あじさい」にて新年の研修会が行われました。今回、日本舞踊に板間が必要でこの場所を選ばれたそうです。



はじめに牧島さんから「IFUW イスタンブール総会」で議論した内容やJFUW会員の現地での活動についての報告を受けました。IFUWの今後の活動方針を決める採決ではJFUWの意見とは異なる採択がされたと伺い、49カ国集まれば意見も多様であったものと想像しました。またトルコ共和国の現状についてもお話いただきましたが、その中で皆さんが一番驚いたのは、トルコが世界一ガソリン価格の高い国であるということでした。



心尽くしの一席

続いて松本（西川扇由）さんの日本舞踊、祝舞清元「卯の花」を観賞しました。踊りの前に、日本舞踊の成り立ち・「卯の花」の内容・ご自身と日本舞踊のつながりの説明を受けましたので、踊りの仕草の意味も理解できてより楽しく観賞できたように思います。



懇親会ではお弁当の後、幡谷さんと安藤さんにお抹茶を点ていただきました。馬柄の懐紙に鶴の形のお菓子、富士山等おめでたい柄のお茶碗でいただく一服に満ち足りた気持ちになりました。最後に各自引いたくじに書いてあるお題について話をしたり歌を歌ったりして、和気あいあいと時間を過ごしました。今年も会員の皆様と共にできる限り活動していこうと気持ちを新たに新年会でした。（上月記）

3月定例会

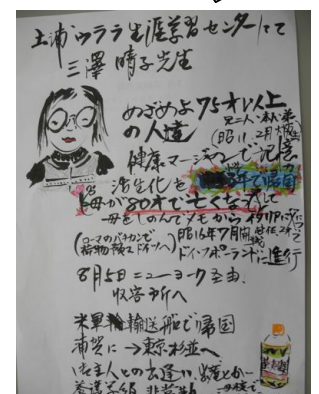


さる3月16日、土浦市男女共同参画センターで、アーカイブス”MY WAY”シリーズ 第8段として、三澤会員による講話「ヨーロッパでの戦争体験～第二次世界大戦の小さな記録」を伺った。会員以外のお客様を含む20名の参加者は、幼児期の壮絶な戦争体験から始まった三澤さんの静かな語り口に思わず引き込まれ、違った視点の戦争に思いを馳せたり、感慨にふけったり。

後半に、三澤さんのご指導により、シルバーリハビリ体操で身体を解した。

講話中に滑らかなタッチでスケッチ、メモを仕上げられた藤田会員の作品を、参加者の感想に代えて掲載。（牧野記）

藤田さんのメモ



＜JAUW 関連＞新春のつどい国内奨学金贈呈式

2014年1月11日京王プラザホテルに

て



今年の「新春のつどい」も茨城支部推薦より2名が受賞された。一人は「危機言語としてのベラルーシ語」消滅危機にある言語の復興についての考察する研究をした筑波大学大学院の清沢紫織さん（左から3人目）もう一人は社会福祉奨学生として筑波大学大学院の小林洋子さん。（左から4人目）「障害者と医療・保健・福祉サービスに関する研究」と題して障害当事者の視点に立って更なる障害者施策の発展

を目的にした研究が認められた。全く自分では知らない世界ではあるにしても意味のある重要な研究であることが伝わってくる分かりやすい説明と真摯な態度に感動した。後半は「今に生きる平家物語」を俳優の金子あいさんの語りと独特の波紋音という調べで平安貴族と白拍子の華やかでしかも今に通じる人の心の悲しさなどが映し出される世界を演じてくれた。魅力的で素晴らしい表現力に見惚れ、聞き惚れてしまった。（今高記）

＜2014年度全国総会・第3回定時会員総会ご案内＞

一年に一度の定時会員総会が下記のように開催されます。2年に一度の理事交代もあり、懇親会では支部の出し物も期待されています。応援の意味でも多くの皆様の参加をお待ちしております。今回の申し込みはFAXで、各自事務所まで、また宿泊も各自で予約お願いいたします。

日時 2014年5月18日（日）9：30～16：00
会場 東京・永田町 都市センターホテル 5F オリオン
千代田区平河町2-4-1 ☎03-3266-8211（代表）

懇親会：5月17日（土）18：00～20：00 都市センターホテル コスモスホール
研修会：5月19日（月）1. 新歌舞伎座での歌舞伎鑑賞（一等席お弁当付）20200円
2. 皇居見学とランチ（変更の可能性もあります）4000円

* 詳細は会報251号2・3面、および会報に同封の案内・申込書・振替用紙をご覧ください。
申込みはFAXで事務所に（締め切り3月31日）、振り込みは4月8日までに個別に。

＜茨城県女性団体連盟関連＞

茨城県女性団体連盟人材育成セミナーに参加して（2013年12月7日実施）



12月7日午前は渡辺満枝さんの「ホスピタリティのこころ」と題して、実践的な演習を行った。人に接するときのマナーや円滑なコミュニケーションの取り方、相手の立場に立って物事を考えているということはどう行動で伝えるかなど具体的に学ぶことができた。

午後は鹿島建設五反田出入口工事事務所副所長という厳めしい肩書の女性が今回の人材育成の講師の一人、須田久美子さんだった。小柄な女性でありながら、正に男性社会の中で生き抜き、その地位を確立してきた女性である。土木技術に従事する女性たちを称して「ドボジョ」といい、次世代の「ドボジョ」を育成するため「土木技術者女性の会」に所属し、現在、後輩に土木の仕事の面白さを伝える活動を継続して行っているそうだ。

仕事を始めた動機や生きがい、家庭生活との両立、男性社会に生きる女性の覚悟を伺った。結婚・出産・育児と大変な時期も地域の支援や家族の理解と支えに守られ、22年間仕事を続けてこられたのは、一人の人間として働きたいという熱意や夢をあきらめなかったからであるという。

男性の仕事とされている土木技術の社会の中で、また結婚や出産というライフステージの変化にも負けなかったのは、彼女の仕事への執念と家族や周囲の協力が大きかったのではと感じた。仕事を続けたいという次世代の女性達へ



の大きな希望となる講演だった。（加藤光記）

平成 25 年度茨城県女性団体連盟の集いに参加して

(2014 年 2 月 14 日実施)

午後の部は『『すばらしきパートナーとともに』～妻として、母として、女優として～』のテーマで、女優の原日出子さんとフリーアナウンサー佐藤美生とのトーク対談。原さんは先夫との間の娘さんを連れて、現在の夫である水戸市本町出身の俳優の渡辺裕之さんと結婚。渡辺さんとの間に 19 歳の娘さんと 17 歳の息子さんがいる。対談は佐藤さんのインタビューに原さんが応じる形で進められたが、気さくで、女優というより普通の可愛いお母さんといった感じ。



夫婦円満の秘訣は干渉しないこと。相手から直球を投げられてもこちらはふんわりした球を投げ返す、これを繰り返していくうちに、相手からもふんわりした球が返ってくるようになるという。子供たちに関しては、きちんとした食事、体を清潔にさせておくこと、愛情をたっぷり注ぐことが肝心で、お掃除が一番後回し。ほこりでは死なないと何度も念押し。なるほどと感心して聴きました。



午後の部の 2 番目は、福山なおみさんによる「自殺対策におけるゲートキーパーの役割と対応」というテーマでの講話。福山さんは看護師として「自死」に遭遇した経験から、現在は「自殺のない社会づくりネットワーク・ささえあい事務局長」をなさっています。ゲートキーパーという耳慣れない言葉ですが、これは自殺防止のための架け橋という意味だそうで、現代社会における自殺の実態や自殺に追いつめられる背景、精神的支柱としてのネットワークの大切さ、ゲートキーパーの役割などについて説明してくださいました。

自殺願望の背景には深い孤独感（孤立感）、無価値観や自己卑下、殺意にまで至る怒りなどがあるとのこと。私たちひとり一人が社会の中でゲートキーパーとしての役割を持っていると受け止め、傾聴、つなぎ、見守りをキーワードに自殺のない社会をつくりたいと話されました。（松本記）

女性団体連盟総会のご案内

期日：5 月 23 日（金）

10:00～12:30

会場：女性プラザ

男女共同参画室 3 階

内容：平成 26 年度総会および
特別講話

特別講話：

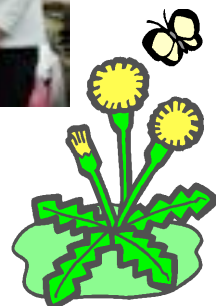
（株）坂東太郎

社長 青谷洋治さん（予定）

テレビ東京系『カンプリヤの宮殿』に 2 月 13 日放送された経済人。茨城県ハーモニーフライト事業にも賛同していただき、多大な寄付をしてくれた。



バザーでのひとこま



—編集後記—

春は名をみの風の寒さ…

ほのかに立ち込めてくる梅の香に励まされながら、新年度のスタートに向けて、あわただしい日々を過ごしています。

皆様、今号もご協力ありがとうございました。

(N.I)